



公立鳥取環境大学 サステナビリティ研究所
— 持続可能な社会に向けて —

公立鳥取環境大学創立20周年記念事業

令和2年度 研究成果報告会

日時

2021年7月6日(火)
10時00分～12時05分

参加費無料

要申込

開催形式

Webex Eventsを使用したオンラインによるライブ配信
(録画・カメラ撮影・転載禁止)



▶ Report1 10:05～10:35

南極のサンゴ



徳田 悠希



▶ Report2 10:35～11:05

焼却施設における水銀フロー推計モデルの精度向上と排出削減への応用



門木 秀幸



▶ Report3 11:05～11:35

日本で働く外国人労働者
— 福岡県で働く外国人介護職員に焦点を当てて —



佐藤 彩子



▶ Report4 11:35～12:05

サステナビリティと経営トップ



中尾 悠利子



※報告の順番・タイトルは変更になることがあります

令和2年度の研究成果報告会は、新型コロナウイルスの現況を考慮し、
ご視聴ご参加可能な形式で実施します。

発表者のご紹介

<p>▶ Report1 徳田 悠希 Yuki, Tokuda</p>	<p>環境学部 准教授 【専門】地質学、古生物学</p> <p>第61次南極地域観測隊に参加し、南極周辺の海底にすむサンゴなどの生物や地質を研究してきました。南極の冷たい海にはどのような生物が暮らしているのかを、分かりやすく紹介します。</p>
<p>▶ Report2 門木 秀幸 Mongi, Hideyuki</p>	<p>環境学部 准教授 【専門】環境分析、廃棄物・リサイクル工学</p> <p>私たちの生活の中では様々な有害物質が使用され廃棄されています。水銀や鉛は重金属類と呼ばれ、資源として利用される一方で環境や人への影響が心配される物質です。この研究では、生活ごみに着目し、焼却処理における水銀、鉛のフローについて調査しました。</p>
<p>▶ Report3 佐藤 彩子 Sato, Ayako</p>	<p>経営学部 講師 【専門】地域経済学、経済地理学</p> <p>日本では高齢者急増に伴い高まる介護サービス需要に対し、従業者不足の解消が課題です。他方で少子高齢化、人口減少が進む日本では労働力不足は顕著であり、特に地方圏の介護サービス産業では不足する労働力を日本人だけで補完することは困難です。本発表では、福岡県を対象に介護サービス産業の外国人労働者の受入事業所の特徴や就業実態を、統計資料の分析と関連機関へのインタビューに基づき報告します。</p>
<p>▶ Report4 中尾 悠利子 Nakao, Yuriko</p>	<p>経営学部 准教授 【専門】環境経営、CSR経営</p> <p>ESG(環境・社会・ガバナンス)投資の増大も背景に、企業価値向上の側面から企業はサステナビリティ経営が求められている。その中でも経営トップは、サステナビリティ経営を促進する上でその役割は大きい。海外研究では、経営トップの違いによってサステナビリティ経営へのパフォーマンスに違いが見られる。しかしながら、我が国の経営トップとサステナビリティの関連に関して直接的な検証を行った研究は存在しない。したがって、海外研究とは異なり、我が国の文脈による経営トップの特性はサステナビリティ課題対応に関連があるかどうかを検証する必要がある。そこで本研究ではサステナビリティ課題対応へのイニシアティブを高める経営トップの特性を解明することを目的とする。</p>

《オンラインによるライブ配信への申込方法》

①氏名 ②連絡先(電話番号とEメール) ③勤務先の業種名を電話もしくは電子メールで
下記の申込先へご連絡ください。申込者には追って参加用URL等をご案内します。

※オンラインによるライブ配信は、Webex Eventsのシステムを使用します。
※必要な物: インターネット環境、Webカメラ付PCまたはモバイル端末

【お問合せ・申込先】
公立鳥取環境大学 サステナビリティ研究所

